

新飯能

発行 日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401子
山田とし子
973-4710み
新井たかく
978-0175む
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

楽しく元気いっぱい

選挙戦勝利をちかいあう

新春のつどい盛大に

二十一日、日本共産党飯能市委員会・同後援会主催で行われる新春恒例の「〇七年・新春のつどい」が今年も一三〇名を越える参加者で賑やかに開催されました。



今年の実行委員長である山下由治後援会代表委員は、「小泉内閣の政治で、我々国民は次から次ぎへと負担増で痛めつけられてきている。安倍内閣は憲法も変えるといっている。今の政治は、数の力で悪政をこり押ししている。逆にこの事が国民との間に大きな矛盾を生み出している。今度こそ勝って弱肉強食の

草の根の力で選挙を参加された方々は、互いに新年の挨拶を交わしながら、交流を深めていきました。ある参加者は、「こん

挨拶にたった、辻もとみ日本共産党衆議院埼玉九区予定候補、新井巧飯能市委員長は、「四月の一斉地方選挙、七月の参議院選挙で日本共産党が前進することが政治の流れを変える確かな力になる」と力強く訴えました。

多彩な芸に感動

二部の文化行事では、「すぎのこ民謡会」の津軽三味線と踊り、見事なマジックショー、八丈太鼓、篠笛、舞踊は男性二人で踊る「かっぱれ」「大漁太鼓」、新舞踊「大器晩成」、歌は「札幌エレジー」、合唱団「花」「青い空は」など盛況でした。

なに早く憲法問題が問われてくるとは思わなかった。頑張らなくちゃ」とか、「子どもたちや孫たちに、悔いのない闘いをしたい。楽しく元気がでた」などと感想を語っていました。

最後に須賀貴弁護士は、閉会の挨拶で「日本共産党は、しっかりと地域に根付いた草の根の力がある。参議院選挙では大いにその力を発揮して奮闘して

不安と誤解を与える

懇談会「最終報告」の広報掲載

党議員団が中止を申し入れ

市立病院を良くする会はこの間、東吾野、吾野両公民館で住民懇談会を実施し、自治会長や地域住民が多数参加して、これからの市立病院の在り方や問題点などが話し合われました。

十九日の懇談会では、二月十五日号の「広報ほんのう」に飯能市の保健・福祉の将来を考える懇談会の最終報告が「飯能市立病院の病床規模を段階的に縮小し、将来的に入院機能を廃止する」という内容が再度二ページに

相談無料

なんでも相談会

お急ぎの方は、いつでもご連絡ください

とき **2月18日** (日)
午前10時～午後3時

ところ 宮本会館(高橋ストア一隣) リストラ、サラ金、不払い、国保税滞納、生活保護など、何でもお気軽にご相談ください。弁護士、税理士など法律・税務などの専門家と日本共産党の4名の市議会議員が対応します。主催：飯能民商、飯能日高土建飯能支部、清流道場、日本共産党飯能市議団

漫画家やくみつるさんと仏文学者奥本大三郎さんの昆虫交遊録を楽しく読ませてもらいました。今年にはファール「昆虫記」出版百年で、この

てで掲載予定であることに「決定事項でもない懇談会の報告を何度も繰り返して広報で報道するとい

医師三名の欠員は責任が問われる

合わせて、「市立病院の医師の確保、とりわけ二名体制では入院機能が著しく低下すること、一次救急指定病院になっていること等も含めて、すくなくとも現状の三名の医師の確保と南高麗診療所の医師確保に全力であ

昆虫記はファールが生まれたフランスより日本の方がよく知られているというの驚きでした。カブトムシを採ったりする文化は、世界中にあまりない。トンボ採りの文化はほとんど日本だけだといえます。虫と遊んだり見る習慣がないので、細かいものを見る目が育っていない。虫に対する作家の思いも日本ほど多くないと奥本さん。そんな話を聞くと、子どもの頃のトンボ採りのことを思い出されてワクワクしてきます。そういうえば俳句では、たくさん

